

意志あるところに道は開ける

子育て支援で
社会を変えたい

女性も男性も、
仕事を、
人生を楽しもう！



なかむら・のりこ

テレビ朝日アナウンサーを経て1985年、日本初の女性管理職のネットワークであるJAFE (Japan Association for Female Executives) を設立。JAFEセミナーでは、政財界トップとの意見交換を行う。1987年働く女性を「育児と介護サービス」で支援する株式会社ポピンズを起業、現在に至る。ハーバードビジネススクールオブジャパン「ビジネス・ステイツ・ウーマン・オブ・ザ・イヤー」受賞、社団法人ニュービジネス協議会「アントレプレナー大賞優秀賞」受賞。Forbes ASIA's Power Business Women 2014 に選ばれる。2016年第一回日本サービス大賞厚生労働大臣賞受賞。

ポピンズ 代表取締役CEO
JAFE (日本女性エグゼクティブ協会) 代表

中村紀子氏

聞き手：本誌主幹 大中吉一

—— 日本人の女性経営者は何名参加されましたか。

—— 日本人の女性経営者は何名参加されましたか。

—— このたびは、GSW2017の実行委員長として、東京での開催の大役を果たされましたが、これはどのような会ですか。

—— GSWは世界の政財界トップが集うスويس・ダボス会議の女性版とも言われています。年1回開催され、今回27回目。日本人も参加しております。そこで、日本でこの大会を誘致したいということになり、実行委員長に指名されたというわけです。我が国での開催は初めてですので、私と一緒にやって下さるメンバーを一人ずつ選びました。そして、オール・ジャパンで政財界のトップレベルを揃えないと、この大会は絶対できないと思いました。ちなみに、今回のテーマは「ウーマノミクスを超えて」です。

GSW (世界女性サミット) 2017 東京大会の実行委員長を務め、大成功に導いた中村紀子氏 (ポピンズ代表取締役CEO・日本女性エグゼクティブ協会代表) に、その統括と未来への夢を聞いた。

東京大会に込めた3つの目的



G SW2017東京大会には60カ国以上から約1300人もの女性経営者が参加、過去最大を記録した

中村…今回の参加者は1400名、

その内日本人は300名ですが、特別にユースとして、女子大生200名も招待しました。これから世界で日本の女性が大いに活躍して頂くためには、若い女性の意識改革が必要だと考えたからです。招待された彼女達はとても喜んでいましたよ。

―― 将来の中村さんですね。

中村…いいえ、私はたまたまフォロウの風が吹いて、幸運に恵まれてここまで来ただけです。この大会を引き受けるに当たって3つの目的がありました。

第1は、安倍総理の女性活躍推進の起爆剤にすること。そのためには、世界の本物のエグゼクティブを招待することが必要です。

第2は、女性の経済外交をスタートさせたいと思っています。日本が目指す「GDP600兆円」に向けて、何をすべきかに関しては、男性経営者ばかりにフォーカスされているようですが、実は、女性は経済外交がとても得意です。

ポピンズもこの2年間で世界各国から質の高い保育所を望まれて、UAE（アラブ首長国連邦）のアプリやドバイ、韓国を始め、多くのア

プローチが来ています。

そしてそのために、世耕経済担当大臣や経団連の榊原会長にもお越し願ひ、日本でビジネスをするにはどうしたらいいか、いろいろとお話をして頂きました。

第3は、ユース、後輩達の育成です。全国から選んだ200名の女子大生を無料で招待して、この大会が終了した後、引き続きJAFE（日本女性エグゼクティブ協会）のメンバーが、彼女達を育成するというスキームになっています。

「これでもか」と勉強すべき

―― それはすごいですね。ところで「JAFE」について少しご説明頂きますか。

中村…JAFEは1985年創設ですが、新たな一歩となる発会式を2013年に、安倍総理始め政財界のトップのご来臨を頂き開催しました。さまざまな分野で働く女性達がお互いに情報交換し、自己啓発を行なうことにより、ビジネスと生活の向上を図ることを目的としています。

―― JAFEの発会式には安倍総理を始め、ノーベル賞の山中伸

GLOBAL SUMMIT OF WOMEN 2017

Tokyo, Japan



サミットで女性の活躍ぶりにエールを送る安倍総理

という程勉強をしていましたね。あの姿は、女性が絶対に学ばなければいけないと強く思いますね。このような政財界のトップの方々は、政策を決定する権限を持っています。そして、女性の活躍についても一番理解がなかったのが、政治家と経営者だったんですね。

そこで今回、その人達と300名のJAFEのメンバーとを会わせることによって、理解を深めてほしいと思ったのです。

—— それで、理解は深まりましたか。

中村…ええ、とても理解が深まったと思います。後は継続して世界に羽ばたいてもらうだけです。

しかし、残念ながら、今でも女性には3つのパターンしかない、と考えている経営者が世の中には少なくないように感じます。「妻」「秘書」「夜のクラブのママ」ですね（笑）。

—— そんなことはないですよ、華道家の家元や日本舞踊など、文化・芸術の世界では大勢活躍しています。ただ、今迄はそれだけで終わっていましたが、これがさまざまな企業とコラボをして、日本の美しい空間を創造して行けば素



迎賓館ではウェルカムディナーの鏡割りも

晴らしいのでは、と私は思います。

中村…現在、女性の管理職や執行役員は物凄い勢いで増えています、世界から見ればまだまだだと思います。

—— しかし、日本にもやがて女性の首相が必ず現れますよ。世界では「鉄の女」と言われた英国のサッチャーさん、今はメイさんです。ドイツのメルケルさんいます。

博先生、の黒田東彦日銀総裁、塩崎厚生労働大臣など、時の人々を多数お呼びになっていますが、これは正しく中村さんのお力ですね。

中村…そんなことはありません（笑）。大中さんとは30年も前に石

山四郎さんの経営者像の会でお会いしたわけですが、あの頃は日本の産業界に本田宗一郎氏、松下幸之助氏というトップスター達が活躍しておられた時代でした。

そして、あの会で経済界のトップの人達の話の聴くと、「これでもか」



「『保育』という部分をもっと広めて
行きたいと考えています」

中村…日本では東京都知事の小池百合子さんでしょうか。逆にお尋ねしますが、どう思われますか。

—— いずれにしても、まずは社会貢献をし、民意を汲み、政治経験をもっと積んでいきながら、それでいて、母らしく、女らしく、

しおらしくなった時には、必ず首相の座につかれるのではないのでしょうか。

中村…そんな可愛らしくて首相が務まるでしょうか（笑）

—— 大丈夫です。男性もただ強いただけではダメですよ。自論ですが、男は優しければダメ、気配りができなくてはダメ、そしてプレゼントができればダメで

す。この3つが揃うことによって、中村社長のような強い女性でも、男性を尊敬することができるようになると思いますよ。

中村…近年、素晴らしいと思う経営者や、政治家が少ないように感じますね。

ゆとり世代が育っていない

—— 素晴らしい経営者は私の目の前におられますよ。ここまでよくやって来られたと、本当に感服しています。さて、今後、さらなるポピンズの成長と未来に向けての抱負をお聞かせ頂けますか。

中村…ポピンズは働く女性のために、最高水準の育児と介護サービスで支援をして行きます。そして、日本のサービス産業の1つである、「保育」と言う部分を、アジアへ、そして世界へもっと広めて行きたいと考えています。

日本の政府は、介護は自分達の行く末ですから、生産性の向上などいろいろと気を遣っていますし、サービス産業の中にも含まれています。が、保育は規制改革でもスポンと抜けているんですね。

家事支援も本格的に参入しまし

た。テレビでも放映されましたが、今もフィリピンから研修に来ています。

—— 人手不足の現状、これは市場の開放にもとてもいいことですね。

中村…私はこの20年間世界を見て周り、「ポピンズは世界で勝てる」と感じています。今年度185カ所の保育所になりますが、毎年30カ所のペースで保育所を開設しており、多分日本で一番だと思います。

—— 少しお金をかけ過ぎではありませんか。

中村…いいえ、以前は社会福祉法人だけでしたが、現在は株式会社になりましたので、これは政府の認可保育所になります。ですから、自分で全額投資ではありません。厚生労働省も応援してくれています。でも0～5歳の子供向けの投資を、今の5倍位にしないといけません。と言うのは、20歳代のゆとり教育時代の人達が、本当の意味で育っていないんですね。これは本当に由々しき問題だと思います。

—— そんな人が親になってどうしますか。

中村…0歳からのエデュケア（保育+

教育）は絶対に必要です。真剣に向き合う人を理解する力が子供にはあるんですね。1日にどれくらいの時間、親は子供と向き合っているのでしょうか。それが本当の愛情であり教育なんですね。

—— 最後にひと言お願いします。中村…ポピンズは今年30周年を迎えました。業界初を生み出す発想力で、最高水準のサービスをこれからも作り続けてまいります。

—— 期待しております。中村…有難うございます。ご期待に添うよう頑張ります。



お祝いに掛けつけた小池都知事と